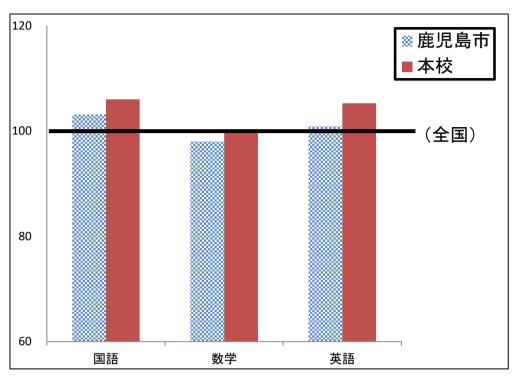
令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 長田中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかを見る問題の正答率が上回っていた。今後も授業の中で内容に即して文章の構成をつかむ活動を取り入れていきたい。また読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題の正答率が低くなっているので、書く活動を通して、読み手を意識して、相手や目的に応じた文章を書くことやその文章を推敲できることに重点を置いた指導を進めてまいります。

〈数学〉

領域別に分析をしてみると、正答率が数と式では、どの問題も上回っていたが、図形・関数では、やや下回るものが見られた。複数あるデータを読み取り、記述形式で解答する問題について、今後の対策として、生徒が何を苦手としているのか(読み取りができないのか、記述することができないのか)を明確にし、それに応じた対策を練っていきたい。また、数学的な用語を正しく使いながら記述することができるように、説明しあう活動を取り入れてた授業の工夫に取り組んでまいります。

〈英語〉

聞くことや必要な情報を聞き取ったり、読み取る問題の正答率は高かった。文法事項や言語の働きを理解して書いたり、日常的な話題や社会的な話題に対して、自分の意見や考え、その理由を書いたりすることが苦手である。基本的な知識をコミュニケーションの目的や場面、状況に応じて使えるように、さらに相手の話したことや書いたことを意識させて活動できるようにしてまいります。

〈全体的に〉

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は学校に通うことが楽しく、将来の夢や目標をもっている生徒や、また授業で自分と違う意見を聞き考えることや友達と協力して物事を進めることが好きな生徒が多い。家庭学習について、自分で計画を立てて勉強することが苦手な生徒がみられます。学校では、主体的・対話的で深い学びの授業の展開に力を入れ、また生活の記録を活用して家庭での学習計画を立てさせながら日々の学習に取り組んでいきますので、御家庭でも見届けと助言をよろしくお願いします。